

衣替えの季節です。台風 15 号は、紀伊半島に大きな被害を与え、名古屋では 100 万人近くに避難勧告出されるなど様々な影響を与えましたが、台風とともに日本列島に秋が来た様子です。皆様のところはいかがですか？ 東京周辺の多くの高校では、文化祭や体育祭がほぼ終わり、すこし落ち着いてきたようです。大学では後期授業がはじまりました。また、センター試験の願書受付が始まるなど、勉学の秋もスタートです。今月も、ネットワークの活動情報とこれからの予定をお送りします。

◆ 目次

【 1 】 最近活動報告

9 月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの予定をまとめて掲載します

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

1) 東京部会を開催しました。

41 回の東京部会が、9 月 15 日（木）に日本大学経済学部で開催されました。出席者は 13 名。はじめて参加された先生も含め活発な討議を行いました。

主な討議内容は、夏の教室の総括、教職課程むけ経済学のテキストの問題、桜修館中等の高橋先生の授業の検討、入試プロジェクトの検討などでした。

詳細は HP の以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo041report.pdf>

2) 雑誌『経済セミナー』10・11 月号が発売されました。

連載中の「中学・高校の経済教育」第四回が掲載されています。今回の執筆者は札幌開成高校の川瀬雅之先生です。国際経済がテーマですが、経済学のシロートと自称されている先生が、初任校から様々な創意工夫をされて経済に取り組んできた軌跡が書かれています。

ぜひお手にとってお読みください。HP は以下の通りです。

http://www.nippy.co.jp/magazine/maga_keisemi.html

3) 「夏休み経済教室」の質疑、講演記録、資料などが HP に掲載されます。

「夏休み経済教室」で講演をされた、林敏彦先生などの講演記録、当日の PPT 配布資料、質疑時間で回答できなかった補充回答などがネットワーク HP にアップされています。

林先生講演記録

<http://www.econ-edu.net/reference/newsletter/NL6-1.pdf>

配布資料

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/Prof.Hayashi.110819.pdf>

質疑への補充回答など

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/2011%20Summer%20seminar.html>

経済教室での講演や講義を再確認することができます。 参考資料としてご活用下さい。
(ただし、現在すべての資料や質問がアップされているわけではありません。順次いたしますので 少々お待ちください)

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を掲載します。

■大阪部会 (No.25)を開催します

台風のため延期した、25回の大阪部会が以下のように開催されます。

日時：2011年10月8日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

参加方法、詳細は以下のHPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka025flyer%20revised.pdf>

■東京部会 (No.42)開催します

日時：2011年9月15日(木) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部7号館13階会議室3

参加方法、詳細は以下のHPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo042flyer.pdf>

■京都部会 (No.11)を開催します

日時：11月18日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 光塩館2F 第二共同研究室

参加方法、詳細は以下のHPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto011flyer.pdf>

■札幌部会 (No.1)を開催します

北海道ではじめての部会となります。関心のある先生方もお誘いの上、ご参加ください。

日時：2011年11月12日(土) 15時00分～17時00分(予定)

参加方法、詳細は決まり次第、HP で掲載いたします。

■年次大会を開催します。

12月3日（土）に年次大会を同志社大学で開催いたします。

詳細は決まり次第、HP で掲載いたします。

■経済教育ワークショップ in 福井を開催します。

12月8日（木）福井大学で開催いたします。

詳細は決まり次第、HP で掲載いたします。

連携している関連団体のイベントを掲載いたします。

■「金融教育フェスティバル 2011」が開催されます。

金融広報委員会主催の「金融教育フェスティバル 2011」が実施されます。

ネットワークでは、このフェスティバルを後援をしています。

関心のある先生方、ぜひご参加ください。内容は次の通りです。

日時：10月23日（日）日本教育会館（東京・神田）

内容：

①「暮らしに役立つ講演会」

東京大学大学院 経済学研究科教授 伊藤元重氏と弁護士 住田裕子氏が暮らしの中で役立つおかねの知識について語りあいます。

②「教員向けセミナー」

教員の方や教職を目指す大学生・大学院生向けに、日頃、金融教育に取り組んでいる先生方による実践報告や参加型のワークショップを通して、金融教育のヒントをつかむための実践的なセミナーです。

申し込み方法・詳細：以下のHPでご確認ください。

<http://www.festival2011.jp/>

【 3 】 授業のヒント

「ハンバーガーを教材に」

イギリスの経済雑誌『エコノミスト』のビッグマックレートで、ハンバーガーは経済の世界で有名です。今年も、同誌が7月末にビッグマックレートを掲載しました。購買力平価説に基づくこのレート評価、25年たったそうです。今年も、各国の一人あたりの国民所得も加味して評価をだしています。それによると、中国の人民元は決して高すぎず、適切なレートであるという意外な評価もされています。

もちろんこんな単純な方法で何が分かるという批判もありますが、同誌では、もしほかの対案があったら提案してほしいとも書いて、なかなか自信満々のようです。

中学や高校の教室でビッグマックは食べられません、大学のゼミなどでは少人数だったら、100円マックを食べながら経済を語ることもよしではないでしょうか。また、同じレシピだから比較可能とされているビッグマックレートも、インドではマハラジャマックという名称であり、中身も違っているなどということも国際理解の教材になるかもしれません。

チョコレートの食べ比べなど、実物教材や体験授業は経済の導入にはすぐれた効果を発揮します。頭と体（胃袋）で経済は勝負ということかもしれません。

【 4 】編集後記（みみずのたはこと）

先日、中学校で授業体験をしました。ネットワーク会員の三枝先生（目黒中央中学）ご紹介による、東京都の中学校社会科研究会の研究のための検証授業のお手伝いです。消費税引き上げなどのテーマでディベートを行い、それを踏まえて質問事項を用意し、専門家に質問をしてさらにテーマを深めるという構成の授業です。

当日は、ネットワークの中川先生（日本大学）、野間先生（同志社大学）、私と「夏の経済教室」の関係者がそろい踏みをしました。

教室を3グループにわけ、中川先生、野間先生、私がそれぞれのグループに入り、質疑応答を行いました。中学生がしっかり学び、真摯に問題を考えているのに強い印象を受けました。これなら日本は大丈夫という気持ちになりました。

もちろん、すべての学校や生徒がそうなっているわけではないでしょう。地域性や先生がたの日頃の指導の成果もあるでしょう。それでも、このような中学生に出会えたのは幸福な体験でした。

百聞は一見に如かずと言い続けていますが、時には違った環境にでかけるもの良しです。

（新井）

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇